

アフリカ・アジア NGO ネットワーク・ワークショップ
東京ワークショップ

日時: 2007 年 10 月 24 日 ~ 26 日 (10 時~17 時)
開催地: JICA 地球ひろば
主催: 独立行政法人国際協力機構 (JICA)
事務局: TICAD 市民社会フォーラム (TCSF)
協力: TICAD IV NGO ネットワーク (TNnet)、2008 年 G8NGO フォーラム
言語: 英語・仏語→日本語 (通訳あり)
参加者: アフリカ NGO14 団体(ベナン、エチオピア、ガーナ、マダガスカル、ルワンダ、チュニジア、ウガンダ、ザンビア)、アジアの NGO 1 団体(フィリピン)、日本の NGO (50~70 団体)、JICA 関係者

アフリカは、世界が 2015 年までにミレニアム開発目標 (MDGs) を達成する上で最も重点が置かれなければならない地域であり、かつ、人間の安全保障の実現が緊急の課題となっている地域でもある。2015 年に向けて折り返しの年である 2008 年には、日本で第四回アフリカ開発会議 (TICAD IV) が開催され、日本のアフリカ開発への寄与が問われる年となる。近年、アフリカ協力に関わる日本の市民や NGO の数も増えると共に、アフリカ社会における市民社会組織の発達や援助実施方法に大きな変化がみられる。アフリカにおいて深刻で早急な対応を要する課題に取り組むためには、今後ますますアフリカと日本の市民の密接な情報交換と現場レベルでの具体的な協働が必要になってくる。

このような協働のためには、まずは相互理解の強化および双方向のコミュニケーションの構築が必要である。しかし、現状では個々の NGO 同士のつながりにとどまっているため、面的な広がりを持つ連携の活発化が必要となっている。

そこで、本年 9 月 17 日~18 日には、ケニアのナイロビにて、アフリカ NGO 約 20 団体、アジアから 2 団体、日本から 3 団体が集まり、以下の目的および成果の達成に向けワークショップを開催する。

1. アフリカとアジア間の NGO ネットワークの構築および強化
2. 第四回アフリカ開発会議 (TICAD IV) に向けたアフリカ市民社会の政策提言能力の強化

ナイロビ・ワークショップの約 1 ヶ月後に開催される本アフリカ・アジア NGO ネットワーク東京ワークショップは、

1. ナイロビ・ワークショップの成果を日本の NGO と市民社会と広く共有し、アフリカ市民社会が直面する課題を当事者から学ぶ機会を設ける
2. アフリカ・アジア NGO ネットワークの活性化
3. JICA-アフリカ NGO ネットワーク構築と活性化を促進する

招聘者一覧

| NGO | 招聘者名 | 国 | ナイロビワークショップ 参加 |
|--|--------------------------|--------|-------------------|
| African Development Programme (ADP) | Mr. Charles Abbey | ガーナ | ○ |
| Association Rwandaise des Travailleurs Chretiens Section Feminins (ARTC-F) | Ms. Josephine Mukahigiro | ルワンダ | |
| ENDA-Energy | Mr. Papa Ngore Ndiaye | セネガル | |
| The Greenbelt Movement | Mr. Simon Kage | ケニア | ○ |
| Gudina Tumsa Foundation (GTF) | Mr. Gizaw Abera | エチオピア | |
| G-Cap Asia | Dr. Eduardo Tadem | フィリピン | ○ |
| G-Cap Kenya | Mr. Mwangi Waituru | ケニア | ○ |
| International Forum for Rural Transport and Development Africa | Ms. Nite Tanzarn | ウガンダ | |
| Justica Ambiental | Mr. Daniel Lemos Ribeiro | モザンビーク | |
| Kara Counselling and Training Trust | Mr. Winstone Zulu | ザンビア | |
| PELUM Association | Mr. Joseph Ssunna | ザンビア | ○ |
| Réseau Glegbenu de Social Watch Benin | Mr. Gustave Assah | ベナン | ○ |
| Tunisian Mothers' Association (ATM) | Mrs. Saida Agrebi | チュニジア | |
| Youth Network for MDGs | Mr. Rado Rakotoarinala | マダガスカル | ○ |

東京ワークショップ・プログラム(案)

～アフリカの声を聞こう～

| カテゴリー | 内容 | 発表団体 | 会場 (JICA 地球ひろば) |
|--|---------|--|---|
| 1日目:現状と課題の共有:ナイロビ・ワークショップでの成果・TICAD・G8に向けて | | | |
| 10:00-12:30 全体会合 | Opening | 主催者挨拶 | JICA 国内事業部部長 村上正博 |
| | パネル発表 1 | アフリカの市民社会の声(ケニアワークショップ参加者からの発表) 1. アフリカ市民社会が考える「人間の安全保障」 2. アフリカ市民社会が考える「投資と経済成長」 3. アフリカ市民社会が考える「環境保全・気候変動」 4. Voices of Africa(アフリカの声)」の発表 5. Joint Statement(共同宣言文)の発表 | 1. PELUM: Joseph Ssuuna (ザンビア) 2. G-Cap Kenya: Mwangi Waituru (ケニア) 3. The Greenbelt Movement: Simon Kage (ケニア) 4. African Development Programme (ADP): Charles Abbey (ガーナ) / Youth Network for MDGs: Rado Rakotoarinala (マダガスカル) 5. Civic Commission for Africa (C-CfA) Chair/Réseau Glegbenu de Social Watch Benin: Gustave Assah (ベナン) / G-Cap Asia Dr. Eduardo Tadem (フィリピン) |
| | パネル発表 2 | 日本の市民社会の声 ポジションペーパーの発表 | 1. G8-NGO フォーラム 2. TICAD 市民社会フォーラム (TCSF) |
| 12:30-13:30 昼食 | | | |
| 13:30-16:00 分科会 | 分科会 | 1. 市民の「人間の安全保障」 | ファシリテーター:平山 めぐみ(アフリカ平和再建委員会/明治学院大学) Association Rwandaise des Travailleurs Chrétiens Section Feminins (ARTC-F)(ルワンダ) PELUM Association(ザンビア) Kara Counselling and Training Trust (ザンビア) Tunisian Mothers' Association (ATM) (チュニジア) Youth Network for MDGs(マダガスカル) |
| | | 2. 市民の「投資と経済成長」 | ファシリテーター:高橋清貴 (JVC/ODA 改革ネット) Réseau Glegbenu de Social Watch Bénin (ベナン) G-CAP Kenya (ケニア) International Forum for Rural Transport and Development Africa (ウガンダ) African Development Programme (ADP) (ガーナ) |
| | | | セミナールーム 302 号室 |

詳細 <http://www.ticad-csf.net/blog/AAnGo/>
 申込・問合せ aangows@ticad-csf.net

| | | | | |
|--------------------|--|-------------------|--|------------------------------|
| | | 3. 市民の「環境保全と気候変動」 | ファシリテーター: 廣野良吉 (成蹊大学名誉教授/環境パートナーシップ会議代表理事) Gudina Tumsa Foundation (GTF) (エチオピア) The Green Belt Movement (ケニア) ENDA-Energy (セネガル) Justica Ambiental (モザンビーク) | セミナールーム 303 号室 |
| 16:00-17:00 全体会 | 各分科会の討議内容の共有およびワークショップ全体としての意見集約・宣言草案作成 「日本の市民社会・アフリカ市民社会の声 (Voices of African and Japanese Civil Society)」 | | 議長: 船田クラーク セン さやか | 講堂 |
| 17:00-19:00 | レセプション | | 司会者: TBC | JICA 地球ひろば1F 「カフェ・フロンティア」 |

| | | | | |
|--|---|----------------------------|---|---|
| 2日目: 午前中:社会科見学&NGO 事務局訪問 午後:結果報告&分科会討議 | | | | |
| 10:00-14:30 見学研修 | 日本の司法・行政機関を見学 | 見学『スカイバス TOKYO』で45分間皇居・官庁街 | 招聘アフリカ NGO 13 団体、アジア NGO 1 団体、アフリカ NGO を推薦している日本の NGO | スカイバス |
| | 日本の NGO 事務所訪問 | 「人間安全保障」 | | 候補:AJF、アフリカ平和再建委員会、CanDo、CARE、FoE、難民を助ける会、ハンガー・フリー・ワールド(HFW)、JANIC、リザルツ・ジャパン、TCSF 事務所 |
| | | 「投資と経済成長」 「環境保全・気候変動」 | | |
| 14:30-15:30 結果報告 | 社会見学・日本 NGO 事務所訪問をもとに日本の市民社会・行政との関係についての考察を発表 | | | セミナールーム 202 号室 |
| 15:30-17:00 分科会討議 | 全参加者を対象とした各分科会の討議・素案作成 | | 各分科会議長(アフリカ・日本) | セミナールーム 203 号室 |

| 3日目:議論を取り纏め提言書とパワーポイントの作成および発表 | | | |
|--------------------------------|--|---|--|
| 10:00-12:00 全体会 | アフリカ日本市民社会の声まとめ 各分科会議長と書記、提言文書のファイナルを発表、参加者の承認を得る | 各分科会代表、書記、TCSF | JICA 地球ひろば セミナールーム 302 号室 |
| 12:20-12:30 | アフリカ JICA とアフリカ NGO との協力関係 | JICA アフリカ部部長 黒川 恒男 | |
| 12:30-15:00 | 昼食・ビデオ会議室へ移動 | | |
| 15:00-17:00 ビデオ会議・セミナー | ビデオ会議・セミナー:アフリカの NGO が見た日本(日本から発信) | <ol style="list-style-type: none"> 1. Gudina Tumsa Foundation (GTF): Gizaw Abera (エチオピア) 2. Tunisian Mothers' Association (ATM) :Hon. Saida Agrebi 3. Kara Counseling and Training Trust: Winstone Zulu (ザンビア) 4. Association Rwandaise des Travailleurs Chretiens Section Feminins (ARTC-F): Josephine Mukahigiro (ルワンダ) 5. ENDA-Energy: Papa Ngore Ndiaye (セネガル) 6. International Forum for Rural Transport and Development Ms. Nite Tanzarn (ウガンダ) | 世銀 Tokyo Development Learning Center @内幸町 |
| | ナイロビ・ワークショップ参加者の声および JICA NGO デスクの声(アフリカから発信) | <ol style="list-style-type: none"> 1. ケニア 2. エチオピア 3. ザンビア(調整中) 4. 南アフリカ/チュニジア 5. モザンビーク 6. ジンバブエ 7. セネガル 8. カメルーン | |